

知多市情報活用能力育成 単元表(令和5年度版) ※Dのみ作成中

知多市教育目標	ICT教育を通して身に付ける力	情報活用能力4要素	項目内容	小学校1年	小学校2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年		
熟考する力 協働する力 未来につながる 新たな価値を創造する力	ひとを育み	情報活用能力4要素	A 基本的な操作等	すきま時間(朝の学習タイム、帰りの会等)、各教科、道徳科、外国語活動、学活、総合などで、日常的に指導する。							
			B プログラミング	1 順次・分岐・反復	体育「マットを使った運動遊び」1-①、2-①	生活「むしだいすき」1-①	国語「主語と述語に気を付けよう」1-①、2-①	体育「マットを使った運動遊び」1-①、2-①	生活「生きものや友だち」1-①、2-①	国語「敬語」1-③、2-③ 算数「円と正多角形」1-③、2-③ 算数「整数」1-③、2-③ 社会「情報をつくり、伝える」5-③ 体育「マット運動」1-③、2-③ 家庭「食べて元気!ご飯とみそ汁」1-③、4-③ 外国語「Where is the post office?」1-③、2-③ 総合【例】「情報技術を生かした生産や人の手によるものづくり」3-③、5-③	算数「図形の拡大と縮小」1-③、2-③ 算数「資料の調べ方」3-③ 理科「電気の利用」1-③、2-③、4-③ 体育「マット運動」1-③、2-③ 家庭「まかせてね 今日の食事」1-③、4-③ 総合【例】「情報化の進展と生活や社会の変化」3-③、5-③
			C 情報モラル・情報セキュリティ	1 モラル・マナー	道徳「節度・節制:きもちのよいせいかつ」1-①、6-① 道徳「節度・節制:ものやおかねをたいせつに」2-① 「善悪の判断、自律、自由と責任:なんていったらよいのかな」3-① 学活「学校の約束をまもろう」4-①、5-①、6-①	国語「うれしいことば」1-① 「そうだんにのってください」3-① 生活「またたんけん」1-①、2-① 「あの人にしたいな」1-①、2-① 道徳「教えていいのかな」5-①、4-① 「みほんやとどりのせきのみすだくん」3-①、1-① 「おかげないりさん」1-① 「みにつけよう れいぎ・マナー」1-① 「みんなのものって」2-① 「るっぺ どうしたの」6-①	道徳「おそろしいゲーム依存」(A.節度・節制)1-②、6-② 社会「はたらく人びとの仕事」2-②、3-② 体育「毎日の生活と健康」6-② 学活「情報モラル」4-②、5-②、7-②	国語「アップとルーズで伝える」7-③ 道徳「守りたい自分のじょうほう」4-③、5-③ 「かわいくない」1-③、3-③ 学活「情報モラル」1-③、2-③、6-③	社会「(選択単元)情報をつくり、伝える」4-③、5-③、7-③ 「(選択単元)情報を生かして発展する産業」4-③、7-③ 家庭科「持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方」4-③ 学活「情報モラル」1-③、6-③、7-③ 道徳「知らない間のできごと」3-③、7-③ 「参考にするだけなら」2-③ 「だれかをききつづける機械ではない」1-③、7-③	国語「メディアと人間社会/大切な人と繋ぐつながるために/プログラミングで未来を創る」6-③ 「対話の練習(いちばんだいじなもの)」3-③ 学活「情報モラル教室」犯罪に巻き込まれないために 社会「憲法と政治のしくみ」2-③ 道徳「知らない間のできごと」3-③、7-③ 5-③ 保健「病気の予防」6-③ 道徳「食事のメール」(A.節度・節制)1-③ 「情報について考えよう」(C.規則の尊重)5-③ 総合「世界に生きる」未来に向かう生きる」7-③	
			D 問題解決・探究における情報活用	1 情報収集・選択	国語「しらせたいな、見せたいな」2-①、3-① 算数「ひきざん(2)」5-① 生活「わたしたちの やさいばたけ」1-①	算数「三角形と四角形」2-① 生活「またたんけん 野さいをそだてよう」1-①	国語「対話の練習」2-② 国語「季節のことば～冬のくらし～」2-② 国語「わたしたちの住んでいる市のようす」6-① 社会「店ではたらく人々の仕事」1-②、2-②、4-②、6-② 理科「昆虫の世界」2-①	社会「ごみのしよりと活用」5-② 道徳「ロレンゾの友達」4-③	国語「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」1-③、6-③ 体育「持久走」8-①	算数「場合を順序よく整理して」2-③ 算数「比例と反比例」8-③ 社会「飛鳥文化～平安時代」8-① 社会「明治の新しい国づくり」4-③ 家庭科「朝食から健康な1日の生活を」8-③ 総合「見つめよう私たちの世界と未来」5-③	
GIGAワークブック「ちた市」を活用した実践											

※各項目(A～D)における「1-①」といった表記は、情報活用能力体系表の番号を表している。例えば、「B プログラミング」の「小学校1年の算数「いろいろなかたち」1-①」とは、情報活用能力体系表の「B プログラミング」の「1 順次・分岐・反復」の「①問題解決には手順があることを理解し、プロセスを簡単な図等で表すことができる」の内容を指しているということに留意する。